

# J-クレジット制度 プロジェクト計画書 （排出削減プロジェクト用）

プロジェクトの名称：

宮崎大学の太陽光発電システム導入による  
CO2 排出削減プロジェクト

プロジェクト 実施者名	国立大学法人 宮崎大学
----------------	-------------

妥当性確認申請日 年 月 日

プロジェクト登録申請日 年 月 日

## 1 プロジェクト実施者の情報

### 1.1 プロジェクト実施者（複数のプロジェクト実施者がいる場合は代表実施者）

実施者名	コクリツダイガクハウジンミヤザキダイガク
	国立大学法人宮崎大学
住所	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

### 1.2 J-クレジット保有者 ※1

保有者名	(フリガナ)
住所	

※1 J-クレジット保有者が決まっている場合は記入すること。

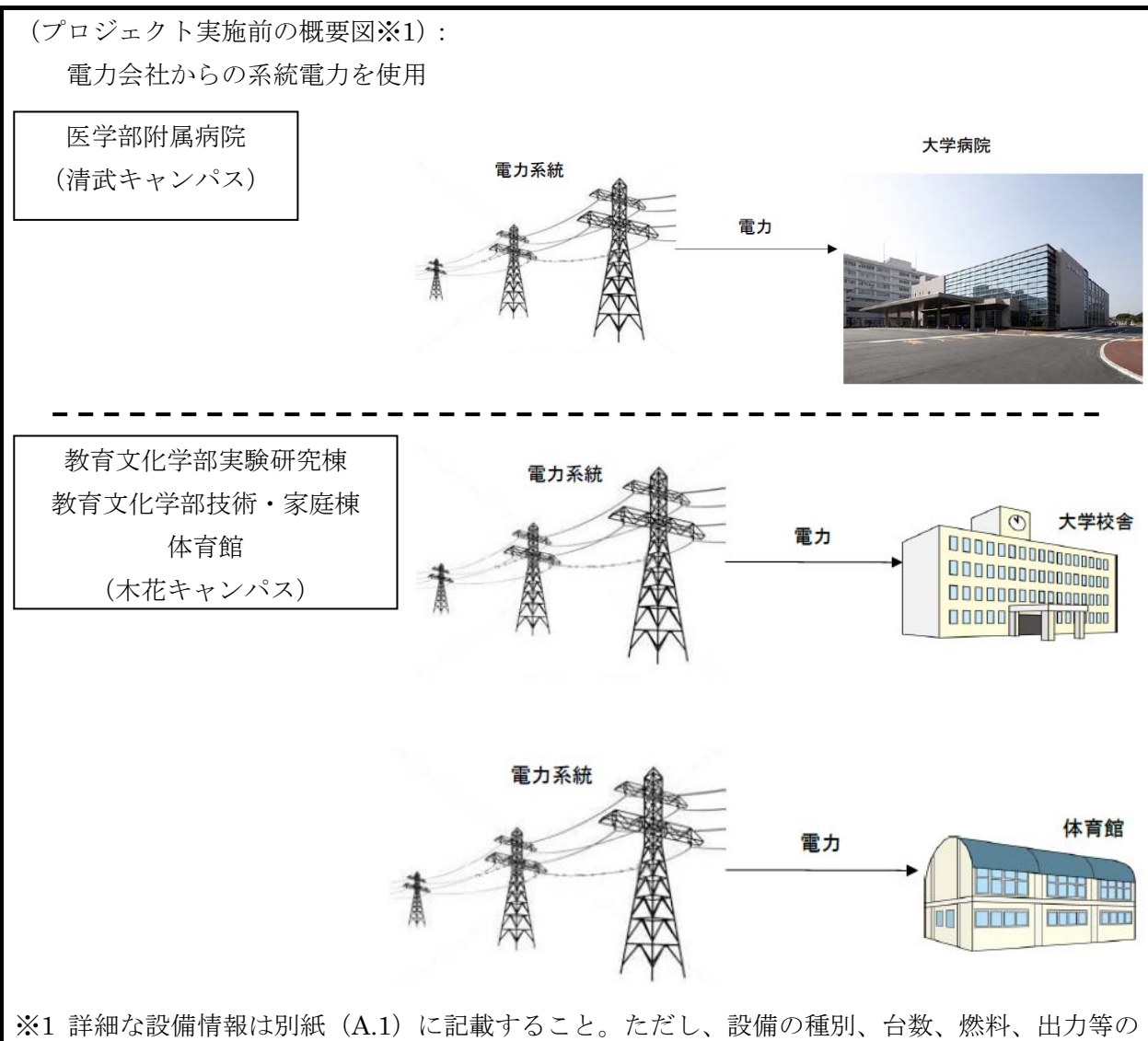
※ 以下、複数のプロジェクトをまとめて申請する場合は、2～4の内容を方法論ごと・実施場所ごとに記載すること。

## 2 プロジェクト概要

### 2.1 プロジェクトの目的及び概要

プロジェクト名	宮崎大学の太陽光発電システム導入による CO2 排出削減プロジェクト	
目的	本プロジェクトは、宮崎大学の施設において太陽光発電システムを導入することにより、CO2 排出量を削減するものである。	
概要（削減方法）	宮崎大学医学部附属病院、教育文化学部実験研究棟、教育文化学部技術・家庭棟及び体育館において太陽光発電システムを導入することにより、系統電力からの電力使用量を削減し、CO2 排出量を削減する。	
プロジェクト実施場所	実施事業所名	宮崎大学医学部附属病院
	住所	宮崎県宮崎市清武町木原 5200 番地
	実施事業所名	宮崎大学（教育文化学部実験研究棟、教育文化学部技術・家庭棟 及び体育館）
	住所	宮崎県宮崎市学園木花台西 1 丁目 1 番地

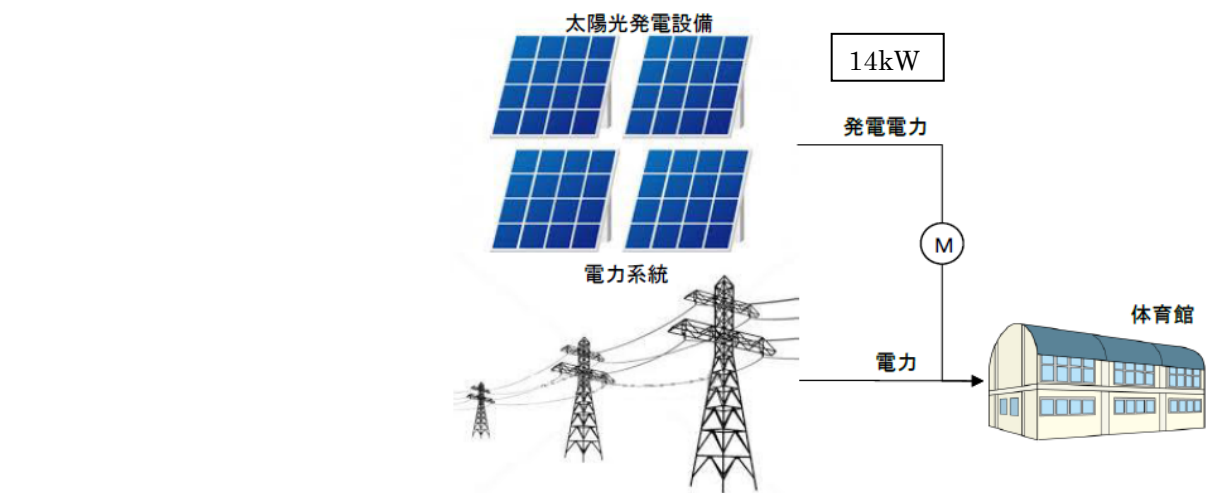
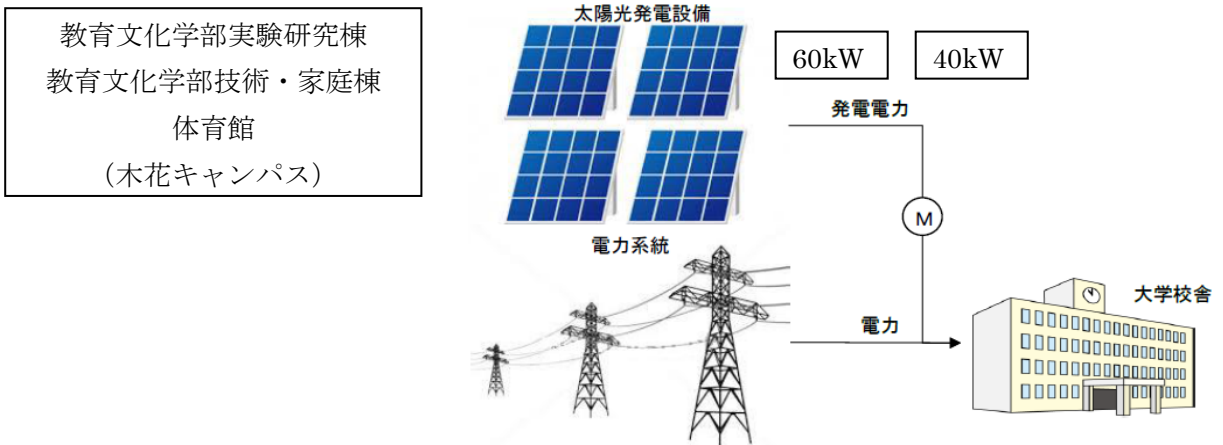
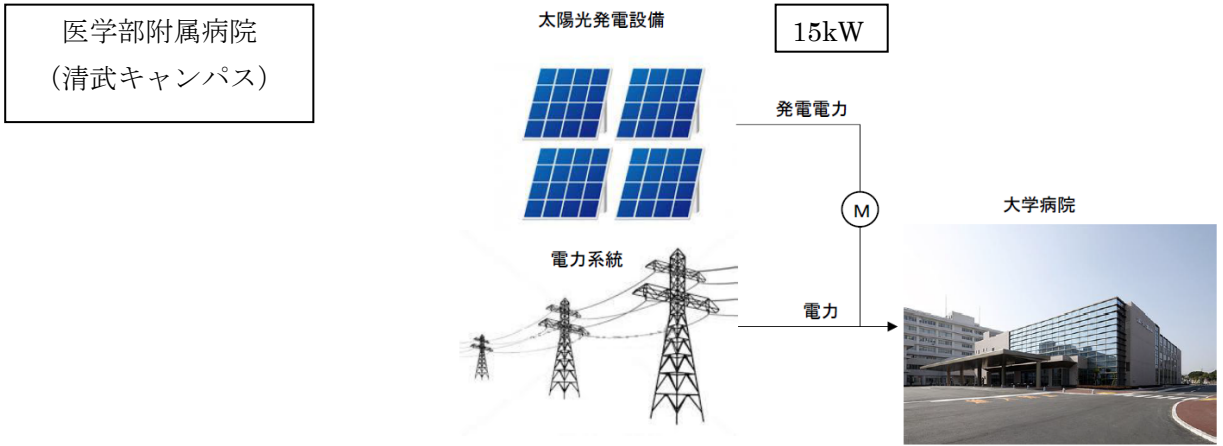
### 2.2 プロジェクト実施前後の状況



情報は図中に記載すること（具体的な記載範囲は記載例参照）。また、新設プロジェクト又は国内クレジット制度若しくはオフセット・クレジット（J-VER）制度から移行したプロジェクトの場合にはベースラインとして設定した標準的な設備の情報を記載すること。

（プロジェクト実施後の概要図 ※2）：

太陽光発電システムにより、系統電力の一部を代替する



※2 詳細な設備情報は別紙（A.1）に記載すること。ただし、設備の種別、台数、燃料、出力等の情報は図中に記載すること（具体的な記載範囲は記載例参照）。

## 2.3 プロジェクト要件への適合

### 【医学部附属病院（清武キャンパス）】

プロジェクトの実施日 ※1	<input type="checkbox"/> 2013年4月以降に実施されたプロジェクトである <input checked="" type="checkbox"/> 2012年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認及びオフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録のいずれも受けていない ※2 <input type="checkbox"/> 2008年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認又はオフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録を受けている ※3
追加性	<input checked="" type="checkbox"/> 追加性を有している ※4

### 【教育文化学部実験研究棟、教育文化学部技術・家庭棟、体育館（木花キャンパス）】

プロジェクトの実施日 ※1	<input type="checkbox"/> 2013年4月以降に実施されたプロジェクトである <input type="checkbox"/> 2012年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認及びオフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録のいずれも受けていない ※2 <input checked="" type="checkbox"/> 2008年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認又はオフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録を受けている ※3
追加性	<input checked="" type="checkbox"/> 追加性を有している ※4

※1 「プロジェクトの実施日」とは、設備の稼働日や燃料の切替えを行った日を指す。

※2 2013年度中に限りJ-クレジット制度のプロジェクトとして登録申請を行うことができる。

※3 国内クレジット制度又はオフセット・クレジット（J-VER）制度から移行したプロジェクトについては、「2013年4月以降に実施されたもの」という要件を満たしている必要はない。ただし、標準的な設備をベースラインとして設定する必要がある。

※4 追加性評価に関する詳細情報は別紙（A.2）に示すこと。方法論の7. 付記において、追加性の評価が不要とされているもの（ポジティブリスト）については、別紙（A.2）の記入は不要。

### 3 方法論

#### 3.1 適用方法論

【医学部附属病院（清武キャンパス）】

適用する方法論	方法論番号	EN-R-002 ver. 1.0
	方法論名称	太陽光発電設備の導入
更新／新設 ※1	<input checked="" type="checkbox"/> 更新プロジェクト <input type="checkbox"/> 新設プロジェクト	

【教育文化学部実験・研究棟、教育文化学部技術・家庭棟、体育館（木花キャンパス）】

適用する方法論	方法論番号	EN-R-002 ver. 1.0
	方法論名称	太陽光発電設備の導入
更新／新設 ※1	<input checked="" type="checkbox"/> 更新プロジェクト <input type="checkbox"/> 新設プロジェクト	

※1 ベースラインとして標準的な設備を設定する場合、「新設プロジェクト」となる。

#### 3.2 方法論の適用条件への適合 ※1

【医学部附属病院（清武キャンパス）】

条件 1	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	説明 対象事業所において太陽光発電設備を設置されたものであるため
条件 2	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	説明 太陽光発電設備で発電した電力の全部が自家消費されているため
条件 3	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	説明 太陽光発電設備で発電した電力が系統電力を代替しているため 納入系統図より、太陽光発電設備で発電した電力が系統電力に接続されていることを確認している

【教育文化学部実験・研究棟、教育文化学部技術・家庭棟、体育館（木花キャンパス）】

条件 1	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	説明 対象事業所において太陽光発電設備を設置されたものであるため
条件 2	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	説明 太陽光発電設備で発電した電力の全部が自家消費されているため
条件 3	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	説明 太陽光発電設備で発電した電力が系統電力を代替しているため 納入系統図より、太陽光発電設備で発電した電力が系統電力に接続されていることを確認している

※1 記載内容に関する根拠資料や関連情報等について、妥当性確認機関からの要求に応じて情報提供を行うこと。

### 3.3 モニタリング・算定方法

【医学部附属病院（清武キャンパス）】

ベースライン排出量 ※1				
主要／ 付随的	排出活動	温室効果ガス の種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	系統電力の使用	CO2	—	■排出量の算定を行う
付随的				□排出量の算定を行う □排出量の算定を省略する
付随的				□排出量の算定を行う □排出量の算定を省略する
プロジェクト実施後排出量 ※1				
主要／ 付随的	排出活動	温室効果ガス の種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	太陽光発電設備の使用	CO2	—	■排出量の算定を行う
主要			—	□排出量の算定を行う
付随的	パワーコンディショナ ーの待機電力	CO2	0.9%	□排出量の算定を行う ■排出量の算定を行わない
付随的				□排出量の算定を行う □影響度により排出量を評価する

【教育文化学部実験・研究棟、教育文化学部技術・家庭棟、体育館（木花キャンパス）】

ベースライン排出量 ※1				
主要／ 付随的	排出活動	温室効果ガス の種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	系統電力の使用	CO2	—	■排出量の算定を行う
付随的				□排出量の算定を行う □排出量の算定を省略する
付随的				□排出量の算定を行う □排出量の算定を省略する
プロジェクト実施後排出量 ※1				
主要／ 付随的	排出活動	温室効果ガス の種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	太陽光発電設備の使用	CO2	—	■排出量の算定を行う
主要			—	□排出量の算定を行う
付随的	パワーコンディショナ ーの待機電力	CO2	1.1%	□排出量の算定を行う ■影響度により排出量を評価する
付随的				□排出量の算定を行う □影響度により排出量を評価する

※1 各排出活動の排出量算定方法及び影響度の算定方法については別紙（A.3）に記載すること。

※2 モニタリング方法については別紙（A.4）に記載すること。

#### 4 排出削減計画

【医学部附属病院（清武キャンパス）】

認証予定期間 ※1	2014年 3月 1日 ～ 2021年 3月 31日（7年 1ヶ月）						
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量		プロジェクト実施後排出量		排出削減量	
	2013年度	1.0	t-CO2	0	t-CO2	1	t-CO2
	2014年度	11.6	t-CO2	0	t-CO2	11	t-CO2
	2015年度	11.1	t-CO2	0	t-CO2	11	t-CO2
	2016年度	10.7	t-CO2	0	t-CO2	10	t-CO2
	2017年度	10.5	t-CO2	0	t-CO2	10	t-CO2
	2018年度	10.5	t-CO2	0	t-CO2	10	t-CO2
	2019年度	10.5	t-CO2	0	t-CO2	10	t-CO2
	2020年度	10.5	t-CO2	0	t-CO2	10	t-CO2
	合計	76.4	t-CO2	0	t-CO2	73	t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 電力の CO2 排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由（以下に記載すること）						

【教育文化学部実験・研究棟、教育文化学部技術・家庭棟、体育館（木花キャンパス）】

認証予定期間 ※1	2013年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日（8年 0ヶ月）						
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量		プロジェクト実施後排出量		排出削減量	
	2013年度	64.2	t-CO2	0	t-CO2	64	t-CO2
	2014年度	64.2	t-CO2	0	t-CO2	64	t-CO2
	2015年度	64.2	t-CO2	0	t-CO2	64	t-CO2
	2016年度	64.2	t-CO2	0	t-CO2	64	t-CO2
	2017年度	64.2	t-CO2	0	t-CO2	64	t-CO2
	2018年度	64.2	t-CO2	0	t-CO2	64	t-CO2
	2019年度	64.2	t-CO2	0	t-CO2	64	t-CO2
	2020年度	64.2	t-CO2	0	t-CO2	64	t-CO2
	合計	513.6	t-CO2	0	t-CO2	512	t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input type="checkbox"/> 電力の CO2 排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由（以下に記載すること）						

※1 認証予定期間は、プロジェクト登録の申請予定日若しくはモニタリングが可能となる予定日のいずれか遅い日から2021年3月31日までの間で設定すること。

※2 排出削減量の算定方法については、別紙A.3に記載すること。



## 5 データ管理

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載する。詳細については、J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）「2.4」を参照のこと。

### 5.1 モニタリング体制

データ管理責任者 ※1	国立大学法人宮崎大学 施設環境部企画管理課長
モニタリング担当者 ※1	国立大学法人宮崎大学 施設環境部企画管理課 課員

※1 担当者の組織、役職名を記載すること（個人名は不要）。原則として、それぞれ別の担当者をおくこと。

### 5.2 モニタリングデータの収集・記録・保管

モニタリングデータの収集・記録・保管の手続 ※1	モニタリング担当者は、月1回の頻度で、電力量計の発電量を把握し、計測値を集計する。発電量数値は電子ファイル及び紙媒体で保管する。 当該太陽光発電設備の仕様書等の資料を保管する。
データ保存期間 ※2	認証対象期間終了後 <u> 2 </u> 年間

※1 認証対象期間において複数の担当者がモニタリングを行う場合には、全ての担当者が適切にモニタリングデータの収集・記録・管理を行うための仕組みも併せて記載すること。

※2 原則認証対象期間終了後2年間とする。

## 6 特記事項

### 6.1 排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクの特定について ※1

排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクがあるか <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
--

※1 プロジェクト排出量が増加し、ベースライン排出量を上回る可能性のあるリスクも含む。リスクの例は、記載例を参照

(「有」にチェックした場合に記入)

項目	概要
リスク要因	

### 6.2 ダブルカウントの防止措置について

類似制度へプロジェクトを登録しているか。 <input type="checkbox"/> 登録している (類似制度名 : _____ ) 類似制度での認証予定期間 : _____ ) <input checked="" type="checkbox"/> 登録していない
--

### 6.3 法令等の義務の有無について

プロジェクトの実施は、法令等の義務履行によるものではないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものではない。 <input type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものである。
--